

登録コード	T2016200	開講年度	2026				
授業科目	学外特別実習 I (16T以降)					担当教員	番場 教子
英文授業名	Internship 1					副担当	白井 啓一郎
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	幅広い見識と健全な倫理観を持ち、工学的な立場から社会の発展のために貢献する精神と行動力を有する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	企業・団体等の電子情報システム工学に関連したインターンシップに参加し、プログラム終了後にレポートを提出する。						
(5)授業計画	事前に当該年度のインターンシップ担当教員に相談のうえ、企業・団体等のインターンシッププログラムに従って実施する。						
(6)成績評価の方法	インターンシッププログラム終了後速やかにレポート(A4)およびプログラム担当者(実習先責任者)作成の実習証明書(A4任意フォーマット、ただしサインまたは捺印が必要)を提出する。このレポートの内容と実習証明書に基づき成績の判定を行う。						
(7)成績評価の基準	「水準にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加し、レポートと実習証明書を提出した場合、 「やや上にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出した場合 「かなり上にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出、90時間以上の学修があった場合 「卓越している」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出、90時間以上の学修、企業・団体等から高い評価コメントを得た場合						
(8)事前事後学習の内容	2単位修得するには、90時間の学修が必要となる。 通常の週1回授業で2単位の授業では授業時間30時間(2時間×15回), 自習学習時間60時間(4時間×15回)となる。 企業・団体等へのインターンシップにおいて、それと同等とみなせるかは事前に当該年度のインターンシップ担当教員に相談すること。						
(9)履修上の注意	レポートはA4用紙を用い、下記のフォーマットに従って作成する。 ・学籍番号 ・氏名 ・企業名および部署名 ・プログラムの期間 ・プログラムの概要 ・応募の目的 ・得られた知見やスキル ・まとめと感想 詳細は事前に 当該年度のインターンシップ担当教員(副学務委員)に相談すること。						
(10)質問,相談への対応	メールなどにて随時受け付ける。教員室に来る場合は事前にアポイントメントをとること。						
(11)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						